11　情報

学校番号	１００９

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	情報の科学	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	「情報の科学」　（実教出版）						
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（コンピュータ）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

２ 学習の到達目標

・情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための考え方を修得する。
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 課題作品の評価 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 課題作品の評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 課題作品の評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 中間考査まで	情報とコンピュータ ネットワーク	○情報のディジタル化 ○コンピュータの仕組み ○表計算ソフトの基本 ○ネットワークの仕組み ○情報セキュリティ技術	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:コンピュータや情報セキュリティの仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:情報をディジタル化することの利点や問題点、情報システムが社会に及ぼす影響と役割について考えることができる。 c:情報機器や表計算ソフトを用いて情報をディジタル化することができる。また、情報通信ネットワークや情報機器を活用することができる。 d: コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解し、安全に活用するためのセキュリティ対策について理解している。	授業観察 ワークシート 課題の評価
前期 期末考査まで	データベース 問題解決	○データベースの機能と特徴 ○問題解決の方法と手順 ○データの分析 ○解決案の実施と評価	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:データベース、情報システムについて関心を持とうとしている。また、問題解決の方法と手段について関心をもち、問題解決に取り組もうとしている。 b:情報を蓄積・管理することで、どのようなことが可能になるかを考えることができる。問題解決においての情報の有用性について考えることができる。 c:必要な情報を素早く検索でき、問題解決のための、さまざまな技法を使うことができ、目的に応じて適切な方法を活用できる。 d:データベースの役割、問題解決のために情報機器を活用する方法を理解している。	授業観察 ワークシート 課題の相互評価

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。